

監督・アレックス・グラスホフ/小谷承靖  
製作・円谷阜/アーサー・ランキンJR  
特撮監督・佐川和夫  
音楽・モーリー・ローズ/廣瀬健次郎  
主題歌/ナンシー・ウィルソン  
(東芝EMIレコード)

リチャード・ブーン  
ジョン・バン・アーク  
スチーブン・キーツ  
ルーサー・ラックリー  
関谷ますみ

# 極底探険船

THE LAST DINOSAUR

# ポラボーラ

『最後の恐竜』をもとめて…人類史上最大のSFハンティングが始まった!

カラー作品・日米合作映画・東宝東和提供



■9月10日よりロードショー

おとくな特別観賞券900円(一般1200円のところ)劇場窓口にて好評発売中!

丸之内東宝 (211)  
6088

# 極底探険船

THE LAST DINOSAUR

カラー作品 ● 日米合作映画

# ポーラーボーラ



東宝東和提供

★爆発したSFブーム！  
待望の最新作登場！

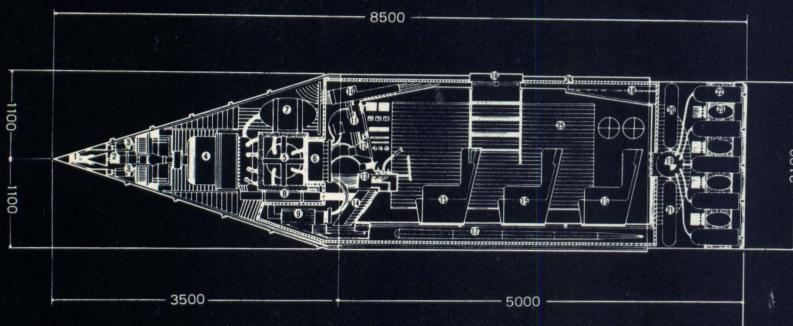
77年から78年にかけて、いよいよ世界を席捲はじめたSF映画ブーム。いまアメリカでは「スター・ウォーズ」が「ジョーズ」を抜いて大ヒット中だ。そのなかでついに登場したのがこの映画だ。SFものの原点ともいえる原始怪獣と最新科学兵器を生み出した人間との息づまる死闘を描いたもの。卓抜なアイデアで、空前の人気を呼んでいる。新しい映画の魅力を満載した異色のSFアドベンチャー超大作がやってくる！

★構想5年！  
200万ドルの特撮新技術！

この映画の魅力は何と言っても映画の大半を占める特撮シーンの面白さだ。そのため製作の段階から日本の円谷プロのスタッフを招いた。企画から脚本化まで5年という信じられないほどの準備期間を置いて、世界最高の特撮技術を誇る円谷プロが完璧なまでに仕上げた。特撮費用だけでも200万ドルという破格の巨費、アメリカ映画界の壮大な構想、日本の優秀なスタッフが見事にジョインした話題の日米合作映画だ。

★超一流の製作陣が放つ  
バツグンの面白さ！

この映画の主人公は“最後の恐竜”ティラノザウルスとスーパーSFマシン“ポーラーボーラ号”だ。これらの生みの親とも言える監督はアメリカから新鋭アレックス・グラスホフ、日本からは“若大将シリーズ”的小谷承靖。特撮はベテラン佐川和夫が担当。主演は「アレンジメント」の名優リチャード・ブーン、180人の公募から選ばれた新人関谷ますみ。主題歌を人気シンガー、ナンシー・ウィルソンが歌っている。



ポーラーボーラ ● 側面図

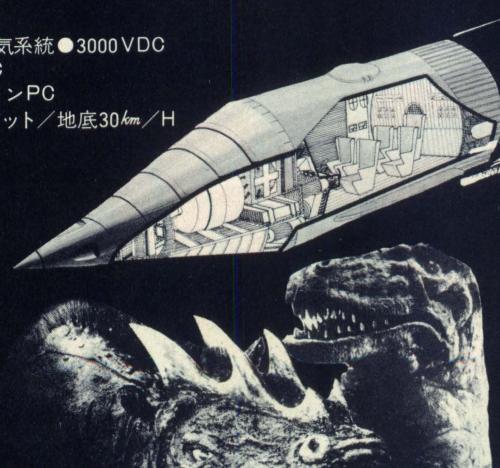
ボディ ● マグネシウム鋼板／電気系統 ● 3000VDC

モーター出力 ● 250 HP 3000VDC

原子炉 ● ブルトニウム 0.5メガトンPC

速度 ● 空中マッハ1.5／海中67ノット／地底30km/H

- ①レーザービーム
- ②高波砲
- ③TVカメラ
- ④モーター
- ⑤ブルトニウム原子炉
- ⑥制御板
- ⑦重水素
- ⑧電気制御板
- ⑨動力コンピューター
- ⑩無線機
- ⑪手向路
- ⑫TV & レーダー
- ⑬操舵機
- ⑭配線コンピューター
- ⑮椅子
- ⑯ハッチ
- ⑰可変翼
- ⑱推進制御板
- ⑲燃料混合機
- ⑳重水素タンク
- ㉑圧縮酸素
- ㉒ロケット・ブースター
- ㉓冷化アンモニウム
- ㉔放射能遮断板
- ㉕生命維持機(気圧・空調機)



★やっと見つけた！

これが“最後の恐竜”だ！

ポーラーボーラの乗組員はハンターとして冒險家として有名なマステンと科学者たちの5人。マステンたちはこの素晴らしい世界の魅力の虜になった。だが絶滅したはずの恐竜ティラノザウルスがポーラーボーラを破壊し、どこかへと運んで行ってしまう。彼ら的好奇心旺盛な探険旅行は一変して緊迫した恐怖の旅となった。ポーラーボーラ号はどこか？原始巨大生物群と人間の知力を尽した闘いが火ぶたを切った！

